

付録

J-PlatPat を利用する上での参考情報を掲載しています。

付.A 論理式の直接入力について	168
付.B 用語集.....	174
付.C J-PlatPatをもっと活用したい方へ.....	179

付.A 論理式の直接入力について

「特許・実用新案検索」画面の「論理式入力」タブで、論理式を直接入力する場合の論理式の入力について説明します。検索項目ごとの入力形式や、指定できる検索項目については、ヘルプをご参照ください。

検索キーワードと検索項目の区切り

論理式は、複数の検索キーワードを指定し、それらの検索キーワードを演算子で組み合わせて作成します。直接入力で検索キーワードを指定する場合は、検索キーワードと検索項目を示す構造タグの間をスラッシュ (/) で区切って入力します。

検索項目を示す構造タグについては、ヘルプをご参照ください。

- 請求の範囲（構造タグ「CL」）に「クラウド」を含む場合

クラウド/CL

- 全文（構造タグ「TX」）に「無電源」と「発光」の間に任意の 1 文字が含まれるキーワードの場合
ワイルドカードとしてクエスチョンマーク (?) が使用できます。

'無電源?発光'/TX

近傍検索の指定について

キーワードから検索する場合に、二つ又は三つのキーワードの間隔を指定して検索する近傍検索も論理式で指定できます。

キーワードとキーワードの間隔は 1～99 文字まで指定できます。語順の指定は、語順あり=C,c、語順なし=N,n が入力できます。

間隔の数字は、「テキスト検索対象」で「和文」を選択した場合、文字数となります。「英文」を選択した場合、単語数となります。

キーワードが二つの場合、以下のように入力します。

- 「無電源」と「発光」の間が 5 文字以内の案件を全文（構造タグ「TX」）で検索する場合の例（必ず「無電源」が先で、「発光」が後になるよう語順を指定する場合は、文字数の後ろに「C」を入力します）

無電源,5C,発光/TX

- 「無電源」と「発光」の間が 3 文字以内の案件を全文（構造タグ「TX」）で検索する場合の例（「無電源」と「発光」の語順を指定しない場合は、文字数の後ろに「N」を入力します）

無電源,3N,発光/TX

近傍検索の指定は、「論理式入力」タブから直接入力するだけでなく、「選択入力」タブの「近傍検索入力支援」画面を使用して入力することもできます。入力した検索条件は論理式に展開が可能です。以下は前述の「無電源」と「発光」の間が 3 文字以内の案件を全文で検索する場合の操作例です。

- 「選択入力」タブの「検索キーワード」の「検索項目」で「全文」を選択し、「キーワード」欄横にある「近傍検索」ボタンを押します。

- 「近傍検索入力支援」画面が表示されます。
1) ～3) の項目を指定して「決定」ボタンを押します。

- (3) 「近傍検索入力支援」画面が閉じ、「無電源,3N,発光」が「キーワード」欄に自動で入力されます。

「選択入力」タブの入力内容を論理式へ展開する方法は、「[5.4 検索条件（論理式）を保存して特許・実用新案を繰り返し検索する【特許・実用新案検索】](#)」（P.87）をご参照ください。

使用できる演算子について

使用できる演算子は以下です。全て半角で入力します。一つの論理式に複数の演算子を含む場合、優先順位の高い演算子が優先されます。

- 大括弧 ([])
優先順位の変更を意味します。優先順位は 1 位です。
論理式内で優先的に検索したい範囲をくくる際に使用します。入れ子での指定は三重まで指定できます。
- アスタリスク (*)
論理積 (AND) を意味します。優先順位は 2 位です。
- プラス (+)
論理和 (OR) を意味します。優先順位は 3 位です。
- マイナス (-)
論理否定 (NOT) を意味します。優先順位は 3 位です。

以下の全ての条件に合致する文献を検索したい場合

- 要約／抄録 (AB) に「クラウド」又は「システム」を含む
- 請求の範囲 (CL) に「製造方法」又は「装飾部品」を含む
- FI が「B22F1/00A」、「C22F1/00,601」のいずれかである

[クラウド/AB+システム/AB]*[製造方法/CL+装飾部品/CL]*[B22F1/00@A/FI
+C22F1/00,601/FI]

以下の全ての条件に合致する文献を検索したい場合

- FI に「B22F1/00A」、「C22F1/00,601」のどちらかを含む
- 請求の範囲（CL）に「y + z」（演算子を含め全角文字）を含む
- 優先権主張番号に「'DE19854811.2'/PN」を含む

[B22F1/00@A/FI+C22F1/00,601/FI]*[y + z/CL]*['DE19854811.2'/PN]

◆注意◆

- 検索キーワード自体に含まれる演算子は全角で入力します。
- FI の展開記号の前にはカンマ（,）を入力します。
- FI の分冊識別記号の前にはアットマーク（@）を入力します。

▶ ヒント

論理式の直接入力で入力の一部を省略するには

同種、同一観点の検索キーワードを続けて入力する場合、丸括弧 (()) を使うと入力の一部を省略できます。丸括弧を使って入力を省略しても、省略しない場合と同じ検索結果になります。

- 全文検索タグ（「ワイン/TX+ビール/TX」）を省略する例

(ワイン+ビール)/TX

- FI のメイングループまで（「D02H13/06/FI*D02H13/08/FI」）を省略する例

D02H13/(06*08)/FI

- FI のサブグループまで（「A23B4/00,101/FI*A23B4/00,505@A/FI」）を省略する例

A23B4/00,(101*505@A)/FI

- FI 展開記号まで（「A23B4/06,501@C/FI*A23B4/06,501@D/FI」）を省略する例

A23B4/06,501@(C*D)/FI

- F ターム（FT）の主テーマと観点

（「2F084EE02/FT+2F084EE03/FT*2F084EE04/FT」）を省略する例

2F084EE(02+03*04)/FT

除外キーワードの指定について

検索キーワードを包含する除外キーワードを指定する方法です。

演算子マイナス (-) を用いる NOT 検索では、同一文献に検索キーワードと除外キーワードの両方が含まれている場合、検索にヒットしません。

英文の拡張 NOT 検索はできません。

- 拡張 NOT 検索の場合

「データログ」、「ログデータ」などを検索したいが、「プログラム」のみを含む文献は排除したい場合の例

(「データログ」と「プログラム」の両方を含む文献はヒットさせる)

[ログ,NOT,プログラム/TX]

- NOT 検索の場合

「データログ」、「ログデータ」などを検索したいが、「プログラム」を含む文献は排除したい場合の例

(「データログ」と「プログラム」の両方を含む文献はヒットさせない)

[ログ/TX]-[プログラム/TX]

付.B 用語集

本書で使用している用語について説明します。

C

■ CPC

Cooperative Patent Classification の略称です。欧州特許庁（EPO）と米国特許商標庁（USPTO）共同で管理・使用する共通分類です。

■ CS ターム

コンピュータソフトウェア文献検索用に開発されたタームです。

D

■ D ターム

形状や模様などの観点から、日本意匠分類が細分化されたものです。出願日（又は優先日、意匠公知資料の場合は公知日）が 2005 年以降の文献には現行のDタームが付与され、2004 年以前の文献には旧Dタームが付与されています。全ての日本意匠分類が D タームによって細分化されているわけではありません。

■ D ターム（VZA/VZB/VZQ）

物品等の部分について意匠登録を受けようとする意匠に付与されるDタームです。

（VZA/VZBは出願日が2019年5月以降の文献に、VZQは出願日が2020年4月以降の文献に付与されています。）

VZA：図の中で意匠登録を受けようとする部分とその他の部分とを描き分けたもの

VZB：外観の一部の面が開示されていないもの

VZQ：組物の意匠

F

■ FI

File Index の略称です。日本国特許庁独自の技術分類記号で、IPC のサブグループから更に細かく展開したものです。

■ FI ハンドブック

FI の詳細な説明書です。

■ F ターム

日本国特許庁独自の技術分類記号で、コンピュータ検索を前提として開発された文献の技術特徴点に付与する検索項目です。

■ F ターム解説

F タームテーマ及び F タームについて技術的な解説をしている文書です。

G

■ Global Brand Database (GBD)

WIPOが提供する商標検索のデータベースで、言語を日本語に設定することもでき、画像検索が可能です。

I

■ IPC

International Patent Classification の略称です。国際特許分類です。世界各国が共通に使用できる特許分類で、発明に関する全技術分野を段階的に細分化したものです。

J

■ J-GLOBAL

国立研究開発法人科学技術振興機構が提供する、国内の研究者や学術論文などを検索できるオンラインサービスです。

<https://jglobal.jst.go.jp/>

O

■ One Portal Dossier (OPD)

五大特許庁や WIPO-CASE 参加庁のドシエ情報 (PCT 国際出願を含む) を一括取得し、見やすい形式で提供するシステムです。

P

■ PAJ

Patent Abstracts of Japan の略称です。公開特許公報英文抄録で、日本国内で発行される公開特許公報の書誌、出願人、及び要約を英語に翻訳するとともに、三極会合の取決めに基づいた仕様にデータ化したものです。

W

■ WIPO

World Intellectual Property Organization（世界知的所有権機関）の略称です。世界的な知的財産権の保護を促進することを目的とした国際機関で、知的財産権に関する条約の管理などを行っています。

■ WIPO-CASE（Centralized Access to Search and Examination）

WIPOが提供するドシエ情報共有システムです。

あ行

■ 英文抄録

各国の特許文献情報の概要を、英文でまとめた情報です。

か行

■ 区分

ニース国際分類に基づくもので、指定商品・役務を分野別に大きく区切るものです。第1類から第45類まであり、出願人が出願時に指定します。全ての商標がいずれかの区分に属しています。

■ 公開技報

本システムでは、掲載許諾を得た公開技報データのみ蓄積しています。
なお、2011年3月末をもって新たな公開技報データの提供は行わないことになりました。ただし、これまで提供されている既存の公開技報データについては、提供しています。

■ 公知資料

雑誌、カタログなどの刊行物や、企業のインターネットサイトに掲載された新製品情報から抽出し、意匠分類等の書誌情報と製品の写真などをイメージデータとして蓄積した審査資料です。

■ 国際意匠分類

世界知的所有権機関（WIPO）国際事務局が管理・運営を行うロカルノ協定に基づいて定められた分類です。

さ行

■ 周知・著名商標

異議決定・審決・判決において周知・著名と認められた登録商標です。本システムでは、異議

決定については、平成 18 年（2006 年）4 月以降に発行された審決公報に掲載されたものが対象です。本システムでは異議決定、審決、判決において周知・著名な商標として認定された商標が検索できます。

■ 称呼

商標に含まれる平仮名、片仮名、漢字、アルファベットなどの文字の要素から生ずる自然な読みを片仮名で表記したもので、特許庁が審査のための検索キーとして付与します。

文字の要素がない商標（図だけの商標）の場合、称呼は付与されません。

称呼は、検索のための参考情報のため、出願人（商標権者）が実際に使用している読み方と異なる場合があります。

なお、設定登録後は、明らかな誤記を除き、原則変更しておりません。

■ 商標（検索用）

商標に含まれる文字列を検索用に起こしたもので、特許庁が審査のための検索キーとして付与します。

文字の要素がない商標（図だけの商標）の場合、商標（検索用）は付与されません。

商標（検索用）は、検索のための参考情報のため、商標の文字構成と異なる場合があります。

なお、設定登録後は、明らかな誤記を除き、原則変更しておりません。

■ 審査官フリーワード

「フリーワード」は、検索に有用な技術用語として文献ごとに付与されたもので、検索キーとして利用可能です。特に、「審査官フリーワード」は審査官が文献に付与したフリーワードのことで、テーマコード+フリーワードで構成されています。

■ 図形等分類

商標の図形要素の分類として国際的に広く採用されているウィーン図形分類を基に、日本独自に更に細分化した分類です。特許庁が審査のための検索キーとして付与します。図形要素だけでなく、音（音商標）や動き（動き商標）についての分類もあります。

文字しかない商標の場合、図形等分類は付与されません。

た行

■ ドシエ情報

世界各国に出願された特許出願（パテントファミリー出願）の手続きや、審査に関連する情報です。

五大特許庁や WIPO-CASE 参加庁のドシエ情報（PCT 国際出願を含む）を、「ワン・ポータル・ドシエ(OPD)照会」画面で参照できます。

な行

■ 日本意匠分類

意匠に係る物品の用途に主眼をおき、必要に応じて機能などの概念を用いて構成された分類です。出願日（又は優先日、意匠公知資料の場合は公知日）が 2005 年以降の文献には現行の日本意匠分類が付与され、2004 年以前の文献には旧日本意匠分類が付与されています。

は行

■ ファセット

IPC の所定の範囲（例えば、サブクラス又は複数のグループの範囲）にわたって、IPC の分類展開とは異なる観点から展開されている記号です。3 つの英文字で表記されます。

ファセットを使うことで、複数の IPC にまたがった横断的な観点から文献検索ができます。

■ 不登録標章

商標法上「商標登録を受けることができない商標」のことです。本システムでは、以下の規定に該当する標章、紋章、記章、印章、又は記号について検索できます。

- 商標法 第 4 条 1 項 2 号
- 商標法 第 4 条 1 項 3 号
- 商標法 第 4 条 1 項 5 号
- 商標法 第 4 条 1 項 17 号

■ 防護標章

需要者に広く認識されている登録商標について、出所の混同が生じる範囲内において、非類似の商品などであっても防護標章として登録する制度です。

ら行

■ 類似群コード

商品・役務の内容に応じて、特許庁が審査のための検索キーとして付与するもので、類似群コードが同一の商品・役務は互いに類似すると推定されます。

わ行

■ 和文抄録

米国特許明細書（全文）などの外国語文献を日本語で要約したものです。

付.C J-PlatPatをもっと活用したい方へ

J-PlatPat動画一覧

J-PlatPatの操作解説動画などを公開しています。

https://www.inpit.go.jp/j-platpat_info/reference/video_list.html



■ 公開中の動画（一部）

- ・ INPITが提案する！J-PlatPatおすすめ利用フロー
- ・ あなたの検索、大丈夫？つまずきポイント解決！
- ・ 研究者のためのJ-PlatPat活用動画
- ・ J-PlatPatとエクセルだけでできる！初めての特許情報分析
- ・ J-PlatPat基本操作ガイド（特許・実用新案編）
- ・ 過去のJ-PlatPat講習会と同内容の動画
- ・ J-PlatPatの法域別の操作解説動画

出願人や発明者の名前で検索する際の注意点（特許・実用新案編）

称呼を使った商標の検索方法

図形等分類表の使い方

【分類名】特許情報プラットフォーム（J-PlatPat）など

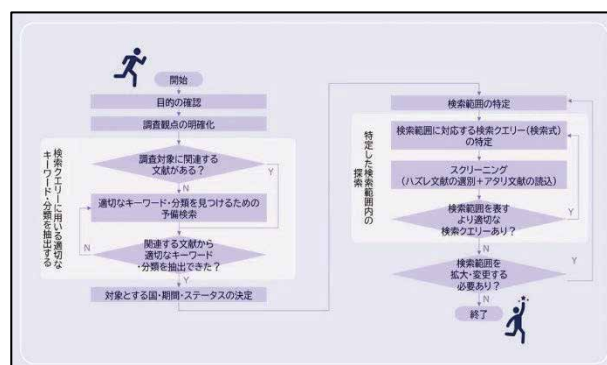
 INPITが提案する！J-PlatPatおすすめ利用フロー	 あなたの検索、大丈夫？つまずきポイント解決！	 研究者のためのJ-PlatPat活用動画	 J-PlatPatとエクセルだけでできる！初めての特許情報分析	 J-PlatPat基本操作ガイド
 講習会動画（簡略版）	 講習会動画（特許・実用新案編最新版）	 画像意匠公報検索支援ツール（GrIP）講習会動画（意匠編最新版）	 講習会動画（商標編最新版）	 機能改善のご紹介
 経過情報のウォッチングについて（RSS機能）	 検索結果のダウンロード（CSV出力機能）	 スマートフォンでの画面表示	 FAQの使い方	 公報情報のPDFダウンロード機能

（INPITが運営する動画サイト「IP ePlat」の画面イメージ）

■ ピックアップ動画

▶ 調査をより適切に行いたい方におすすめ

INPITが提案する！ J-PlatPatおすすめ利用フロー



J-PlatPatの基本操作を習得した方へ、特許調査をさらに適切に行う上での「利用フロー」をご提案する動画です。

どのような目的で特許調査を行うかを確認する「ステップ0」、調査観点を明確化する「ステップ1」、予備検索を行う「ステップ2」、具体的な検索である"本検索"を行う「ステップ3」の順番で特許調査を進めていく一連の流れを「標準フロー」として、ステップ毎に、その考え方、例を用いたJ-PlatPatでの検索手法を分かりやすく説明しています。

必要に応じ、「意匠編」「商標編」もご覧ください。



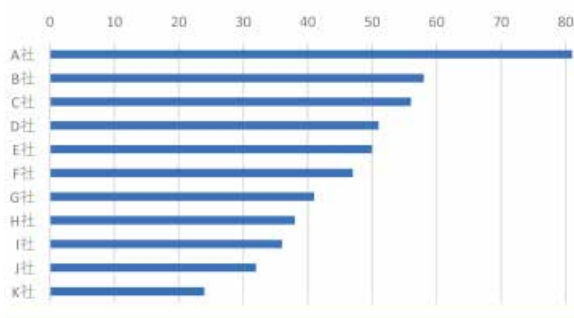
▶ 特許情報の分析を行いたい方におすすめ

J-PlatPatとエクセルだけでできる！初めての特許情報分析（全4回）



株式会社イーパテント代表取締役／知財コンサルタントの野崎篤志先生を講師としてお招きし、特許・実用新案検索で得た検索結果一覧を「[4.5 検索結果一覧を CSV 出力する](#)」（P.48）に記載の方法で出力した後、グラフ化し、分析するための方法を解説しています。

（作成できるグラフの一例：出願人ランキング）



（縦軸：出願人名 横軸：出願件数）

企業・団体向けJ-PlatPat個別説明会・意見交換

J-PlatPatの基本的な操作方法を習得された企業・団体様の事業所等に対し、近傍検索や特許分類を用いた検索などの発展的・応用的な操作方法、及び特許検索における理論・考え方などをご説明します。

https://www.inpit.go.jp/j-platpat_info/individual_lecture/index.html



J-PlatPat新機能解説パンフレット等のダウンロード・紙冊子の配布

J-PlatPatにおいて実施した機能改善の概要、及び関連する操作方法等をご紹介するパンフレット等をダウンロードできます。製本した紙冊子もお届けしております。

https://www.inpit.go.jp/j-platpat_info/reference/index.html

